

1. 科目名（単位数）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ（4単位）	3. 科目番号	SSMP3159 SNMP3358 SCMP3359 SBMP3159 SPMP3159 SSMP3158 PSMP2458
2. 授業担当教員	庄司 妃佐		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱは、ソーシャルワークの基盤と専門職・ソーシャルワークの理論と方法Ⅰで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術等を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。 特に、ソーシャルワーカーがクライアントや連携・協働を図る人との間で結ぶ援助関係の形成について学習する。こうした援助関係形成を土台として、関係者・関係機関とネットワークを構築していく方法、さまざまな社会資源を活用し、さらには社会資源を開発していく方法、関係者とともに解決策を模索するカンファレンスについて学習する。また、さまざまな利害が対立するなかで、関係者との調整を行うネゴシエーションやコンフリクト・レゾリューション、関係者間の連携・協働を促進するファシリテーションやプレゼンテーション、そうした活動をビジネスとして支えるソーシャル・マーケティングについて学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「ソーシャルワークの理論と方法（専門）」に該当する科目である。		
8. 学習目標	下記の目標を達成することが期待される 1. 総合的かつ包括的な支援の考え方とソーシャルワーク実践における家族支援、地域支援、非常時や災害時支援について理解する。 2. ソーシャルワークにおける援助関係の形成方法や留意点について理解する 3. ネットワーキングとコーディネーションについて理解する。 4. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について理解する。 5. カンファレンスについて理解する。 6. 事例分析、事例検討、事例研究のそれぞれについて理解し、活用ができる。 7. ネゴシエーション、コンフリクト・レゾリューション、ファシリテーション、プレゼンテーション、ソーシャル・マーケティングについて、ソーシャルワーク実践での活用を理解する		
9. アサシメント（宿題）及びレポート課題	レポート課題1：レポート課題1：治療モデル、生活モデル、ストレングスマodelについて説明せよ。 レポート課題2：エンパワメントアプローチについてその起源と適用対象等について説明せよ。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新 社会福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法 [社会専門]』中央法規出版、2021 年 2 月。		
11. 成績評価の基準と評定の方法	○成績評価の基準 ・7つの目標を達成することができたか。 ○評定の方法 （1）平常点（授業態度・発表・発言・学習課題など）20%、 （2）課題レポート 30% （3）試験 50% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加（発言、発表等）できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション ：「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」を学習するにあたっての説明と確認 「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」の振り返り	事前学習	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ」で学習したことを説明できるようにする。
		事後学習	「ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ」のシラバスにて課題や各回の内容を確認する。

第 2 回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの 実際 (1) ：総合的かつ包括的な支援の考え方について理解を深める	事前学習	多様化・複雑化した生活課題への対応方法についてテキストを用いて内容を明らかにする。
		事後学習	総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第 3 回	総合的かつ包括的な支援の考え方についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第 4 回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの 実際 (2) ：家族支援の実際について学ぶ	事前学習	家族が抱える複合的な課題についてテキストを用いてその内容を調べる。
		事後学習	家族支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第 5 回	家族支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	家族支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第 6 回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの 実際 (3) 地域支援の実際について学ぶ	事前学習	地域支援の特徴と必要な知識・スキルについてテキストを用いてその内容を調べる。
		事後学習	地域支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第 7 回	地域支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	地域支援における総合的かつ包括的な支援の必要性について説明できるようにする。
第 8 回	総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの 実際 (4) 非常時や災害時支援の実際について学ぶ	事前学習	災害ソーシャルワークの目的と留意点についてテキストを用いてその内容を調べる。
		事後学習	災害ソーシャルワークの必要性について説明できるようにする。
第 9 回	非常時・災害時支援についての事例検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	災害ソーシャルワークの必要性について説明できるようにする。
第 10 回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 (1) ：援助関係形成の意義と概念について学ぶ	事前学習	ソーシャルワーク専門職のグローバル定義についてその内容を確認する。
		事後学習	援助関係形成の意義と概念について説明できるようにする。
第 11 回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 (2) ：援助関係形成の形成方法について学ぶ	事前学習	社会福祉士倫理綱領（及び行動規範）についてその内容を確認する。
		事後学習	援助関係の形成方法について説明できるようにする。
第 12 回	ソーシャルワークにおける援助関係の形成 (3) ：援助関係形成の留意点について学ぶ	事前学習	ソーシャルワークの実践レベル（ミクロ・メゾ・マクロ）についてその対象についてまとめる。
		事後学習	援助関係の形成方法の留意点について説明できるようにする。
第 13 回	ネットワークの形成 (1) ：ネットワーキングについて学ぶ	事前学習	「ネットワークとネットワーキングの定義」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ネットワークの機能、ネットワーク構築のプロセスと手法について説明できるようにする。
第 14 回	ネットワークの形成 (2) ：コーディネーションについて学ぶ	事前学習	「ソーシャル・キャピタル」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	コーディネーション意義と目的について説明できるようにする。
第 15 回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (1) ：社会資源の活用・調整について学ぶ	事前学習	「社会資源の種類と内容」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	社会資源活用の意義と目的について説明することができる。
第 16 回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (2) ：社会資源の活用・調整に係る事例の検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	社会資源の活用・調整について、事例を通じて確認できたことをまとめる。
第 17 回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (3) ：ソーシャルワーク実践と社会資源との関係について理解する	事前学習	「ジェネラリスト・ソーシャルワーク」とは何かについてまとめる。
		事後学習	ソーシャルワーカーの介入方法と社会資源との関係について説明することができる。

第 1 8 回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (4) ：社会資源開発のさまざまな方法について学ぶ	事前学習	「社会資源開発の方法」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	社会資源開発に必要なソーシャルワーカーのスキルについて説明することができる。
第 1 9 回	ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発 (5) ：社会資源開発に係る事例の検討	事前学習	提示された事例を読み、不明な点を明らかにする。
		事後学習	社会資源開発について、事例を通じて確認できたことをまとめる。
第 2 0 回	カンファレンス (1) ：会議の種類と方法について学ぶ	事前学習	「会議の種類」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ソーシャルワーカーが関わる会議について説明できるようにする。
第 2 1 回	カンファレンス (2) ：ミクロ・メゾ・マクロの視点から会議について理解を深める	事前学習	ミクロ・メゾ・マクロの概念についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ミクロ・メゾ・マクロの会議とはそれぞれどのようなものが該当するのかをまとめる。
第 2 2 回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (1) ：事例分析について学ぶ	事前学習	「事例分析とは」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	事例分析の意義と目的について説明できるようにする。
第 2 3 回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (2) ：事例検討について学ぶ	事前学習	「事例検討とは」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	事例検討の意義と目的について説明できるようにする。
第 2 4 回	事例分析・事例検討・事例研究の活用 (3) ：事例研究について学ぶ	事前学習	「事例研究とは」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	事例研究の意義と目的について説明できるようにする。
第 2 5 回	ソーシャルワーク技術 (1) ：ネゴシエーションについて学ぶ	事前学習	ネゴシエーションの意義と留意点、交渉の基本についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ネゴシエーションのプロセスについて説明できるようにする。
第 2 6 回	ソーシャルワーク技術 (2) ：コンフリクト・レゾリューションについて理解する	事前学習	「コンフリクト・レゾリューションとは何か？」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	コンフリクト・レゾリューションについて説明できるようにする。
第 2 7 回	ソーシャルワーク技術 (3) ：ファシリテーションについて学ぶ	事前学習	ファシリテーションの意義とファシリテーターの役割についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	ファシリテーションのプロセスについて説明できるようにする。
第 2 8 回	ソーシャルワーク技術 (4) ：プレゼンテーションについて学ぶ	事前学習	プレゼンテーションの意義と方法、留意点についてテキストを用いて内容を調べる。
		事後学習	プレゼンテーションの方法について説明できるようにする。
第 2 9 回	ソーシャルワーク技術 (5) ：ソーシャル・マーケティングについて理解する	事前学習	「ソーシャル・マーケティングとは何か？」についてテキストを用いて調べる。
		事後学習	ソーシャル・マーケティングについて説明できるようにする。
第 3 0 回	講義のまとめ	事前学習	これまでの学習内容を振り返り、不明な点等を明らかにする。
		事後学習	まとめの内容を整理し、試験に向けて不足事項を学習する
期末試験			
・ 総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践に必要な知識と技術に関する理解を問う。 ・ ソーシャルワークにおける援助関係の形成に必要な知識と技術、態度に関する理解を問う。 ・ 社会資源の活用、調整、開発に必要な知識と技術、留意点に関する理解を問う。 ・ 講義内で扱った専門用語等に関する理解を問う。			